

事務事業の見直し意見

No41 音楽イベントの統合検討

総合評価	音楽イベントの統合検討については見直し
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民みんなで創る音楽祭」は、音楽を切り口としたまちづくりを進めるため、市の主催として市民団体に運営を委託して実施している。 ・委託方式では、コスト意識が低くなり、また、事業内容が固定化する懸念がある。 ・入場料について、プロの演奏家を招いて実施している割には、価格が低く設定されている。 ・「市民みんなで創る音楽祭」については、吹奏楽が盛んでレベルが高く、音楽に親しむ市民が多いことから維持を前提とし、市民の演奏の場、活躍の場を広げるなど、より市民が演奏を楽しめる、市民みんなで創るというイベントの本来の趣旨に沿った形に見直すべきである。 ・また、本来市民主体の実行委員会等で実施すべきイベントと考えられることから、現行の市が主体となっている委託事業を補助事業に改めるなど運営方法を見直し、入場料を上げるなどによる財源の確保を検討されたい。その際に、市民団体に過剰な負担をかけることのないよう経費の削減を市民団体とともに検討されたい。 ・「生駒市民吹奏楽団」については、結成3年目であることから立ち上げを支援することは理解できるが、今後は、入場料を徴収するなど、運営方法の見直しを検討されたい。 ・また、今後においても市民の音楽力を生かした取組を進め、音楽を通してシビックプライドを醸成できるよう、音楽イベント単体で実施するだけでなく、他課と連携した取組にも力を入れられたい。
担当課	生涯学習課
R1 予算額	7,611 千円